

2015年11月10日

IAP 日本支部会員各位

IAP 日本支部
会長 中谷行雄

年会費、受講料値上げおよび
シニア会員、ジュニア会員の創設について
(お知らせ)

会員の皆様におかれましては、日頃から学会の諸活動と運営にご支援とご協力をいただき感謝申し上げます。

平成 27 年 11 月 7 日開催の第 55 回 IAP 日本支部総会において、次のとおり一般会員の年会費の値上げ、および IAP 日本支部病理学教育セミナーの受講料の改訂が決定されました。かねてからの議案事項ではございましたが、20 年以上価格を据え置いてきたことや、近年の学会活動が活発になったこと等、下記改正理由をもとに、苦肉の決断をさせていただくこととなりました。また、新たにシニア会員・ジュニア会員の会員種別を設けましたので各種お知らせするとともに、今回の決定につきまして皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

● 一般会員

	(現行)	(改訂後)
入会金	1,000 円	1,000 円
年会費	4,000 円	6,000 円
受講料		
教育シンポジウム会員	3,000 円	5,000 円
非会員	4,000 円	8,000 円
スライドセミナー会員	7,000 円	10,000 円
非会員	12,000 円	15,000 円

● シニア（終身）会員

終身会費 50,000 円、以降は会費納入を免除
一般会員と同等ですが、特典として教育シンポジウムは無料で受講できます

● ジュニア（若手）会員

入会金	1,000 円
年会費	4,000 円
受講料	
教育シンポジウム	3,000 円
スライドセミナー	5,000 円

会費、受講料の改定は平成 28 年 1 月 1 日から適用します

<改正理由>

国際病理アカデミー（IAP）日本支部は、数年間の収支決算金額が赤字傾向にあります。この部分は、繰越金から補填されておりますが、15年前に2000万円あった繰越金が現状で1000万円に減少しており、このままでは将来的に学会の存続が困難になることが予想されます。この要因は、学会活動がより活発になったこと、会員へのサービス向上やHomepageの立ち上げ、講師謝礼、ハンドアウト作成費などの諸経費の値上げ等によるものです。その傍ら、入会金、年会費、教育シンポジウム参加費はここ20年以上据え置きのみでした。健全な学会運営を継続して行うことができるように、ここにきて会費、および教育セミナーの受講料の値上げが避けられない状況となりました。財政基盤を強化しながら適切な会務を行っていくために、今回の料金改訂とさせていただきます。

新入会員は着実に増加しております（2015年の総会員数768名）。しかし、65歳の定年を迎えた会員が退会していく傾向があります。必ずしも定年後に病理専門医を辞めるわけではなく、多くの先生方が病理専門医を続けている現状と存じます。そこで、会員として外科病理診断の最新の知識を得る機会を継続できるように、シニア（終身）会員を設けました。終身会費納入後は会費を免除し、特典として教育シンポジウムは無料で受講ができます。

また、ジュニア（若手）会員を新設し、入会金・年会費・教育セミナーの受講料を一般会員より安くすることで、若手の会員が学会に入学しやすい制度を設けました。ジュニア（若手）会員の定義は、病理専門医（日本病理学会、専門医機構）の未保持者です。現会員で、ジュニア会員に相当する方は、自己申告で手続きをして頂くこととなります。